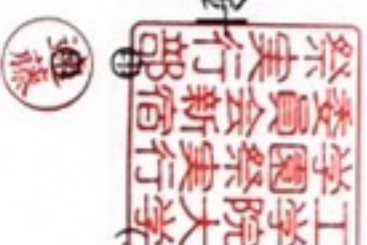


2026 年度 工学院大学 園祭実行委員会 新宿祭実行部 方針

工学院大学 園祭実行委員会 新宿祭実行部

部長 遠藤 匠



き届かない部分の管理及び補助をすることができ、八王子祭をより安全に円滑に運営する。

1. 組織構成

学園祭実行委員会新宿祭実行部に所属する 27 名によって構成される。組織体制としては、部長、副部長、会計の三役と渉内局、渉外局、コンサート局、企画局、資材局、広報局、技術局の計 7 局によって構成される。

2. 方針

本実行部は、2 年間の八王子祭実行部での技術と経験を活かし、新宿祭を企画・運営する。今年度の新宿祭を昨年度からさらに発展していくために、円滑な運営と広報に力を入れ、万全の運営体制を構築し、集客面の改善を図る。そして、来場者の需要を理解し、来場者目線での企画・運営を行い、従来のコンテンツの強化を行うことで、参加団体と来場者の満足度を向上させることを方針とする。

3. 目的

本実行部は、11 月に行う新宿祭を企画・運営する組織である。新宿祭を円滑に運営し、学生への参加意欲を広く喚起し、参加団体・来場者の満足度を向上させるとともに、学生生活の充実向上と、本学の発展に寄与することを目的とする。また学園祭という幅広い対象者が来場する場を設けることで、本学の広報にも寄与する。

4. 活動内容

(ア) 新宿祭全体会議

新宿祭を円滑に運営し、来場者と参加団体に満足していただくために、委員の意識の統一及び向上を行い、本実行部の結束を高める。また本実行部内での情報共有を行い、本実行部全体での活動を本実行部全員が理解し、本実行部内での情報伝達を円滑に行う。

(イ) 学園祭全体会議

別々のキャンパスで活動をしている八王子祭実行部と新宿祭実行部の間で情報共有を行い、委員会全体での意識の統一を行う。また両実行部での問題や課題を共有、討論を行い、より良い実行部・委員会になるように努める。

(ウ) 八王子祭

9 月に八王子キャンパスにて八王子祭実行部が開催する八王子祭の企画・運営の補助をする。新宿祭実行部の委員が運営に加わることで昨年度の経験を活かし、八王子祭実行部のみでは目の行

本実行部は、学生の学術・文化活動の成果発表の場を企画・運営し、本学の広報および発展に寄与することを目的とする。この目的のもと、11 月に新宿キャンパスで開催される新宿祭の企画・運営を行う。ステージ企画、教室展示、模擬店等を通じて学生団体に発表の機会を提供し、活動の発展および促進、ならびに学生生活の充実と向上を図る。さらに、多くの来場者の来場を促進することで本学の知名度向上に寄与し、広報活動の充実に貢献する。

学園祭で毎年掲げているテーマによって、キャンパス全体を 1 つの世界観で統一し、来場者、参加団体を非日常の世界に引き込むための装飾を行う。また、新宿キャンパスの特徴である、ビル型キャンパスならではの閉鎖空間を活かした装飾を施す。

アトリウムには参加団体の発表の場として特設ステージを設置する。そしてアーティスト、芸人を招致してのアーティストライブやお笑いライブ、文化会主催の声優トークショーや参加団体による発表、本実行部が主催する企画といった、老若男女の来場者にあつた様々な企画を行うことで、より多くの来場者を盛り上げ、新宿祭の認知度を向上させる。

キャンパスの外部では、模擬店を開催し、閉鎖的な新宿キャンパスの外部とのつながりを生む要因とする。また、来場者が多くのコンテンツに回りやすくするために新宿祭堪能スタンプラリーを実施する。また、昨年度からの取り組みである新宿キャンパス南側の敷地を利用し、地域と連携した企画をさらに拡充する。

1 階東口付近の階段では、新宿キャンパスのビル型キャンパスの特徴を活かした独自の企画である鉄人 29 階を実施する。来場者に新宿キャンパスの魅力を体感してもらうことで、本学の発展と広報に寄与する。

広報活動については、例年本学内外に向けて行ってきた情報発信をさらに拡充し、新宿祭の認知度向上を図る。これを基盤として、本学の知名度向上への寄与を目的とする。今年度は特に駅広告に注力することで来場者数のさらなる増加を目指す。

また、新宿祭の発展を通じて、来場者・参加団体・本学それぞれの満足度向上を図る。主な来場対象は昨年同様、中高生および大学生とし、大学受験を意識する中高生に対して、本学の雰囲気や在学生の様子を知る機会を提供する。

新宿祭で、様々なコンテンツを行うことで、学生団体の発表の場を幅広く提供し、参加者を様々なコンテンツに参加させるよう誘導し、双方の満足度を上昇させ、新宿祭の魅力を向上させ、来場者数を増加させることで、本学の広報につなげる。

以上を 2026 年度学園祭実行委員会新宿祭実行部の方針とする。